

御 挨 拶

千葉県自閉症協会 会長 大屋 滋

本日は、私たちの感謝の集いにご列席いただき、誠にありがとうございます。

私たちは、1978年、千葉県自閉症児・者親の会連合会を結成しました。1988年から2007年までの20年間は、社団法人日本自閉症協会の千葉県支部として活動して参りました。今年2008年、日本自閉症協会の支部体制を発展的に解消し、より独立性が高い、千葉県自閉症協会へと組織改革を行いました。これまで千葉県の行政、福祉、教育、医療、就労、生活、余暇等に係わる様々な分野の方々から多大なご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

私たちの子どもたちは、自閉症という障害を持って生まれてきました。知的能力が高い人も低い人もいますが、共通した自閉症の特徴を持っています。自閉症であること自体は、不幸なことではありません。私たちの子どもたちは本当に魅力的な人です。しかし、自閉症というわかりにくい障害があるために、社会の中で理不尽な扱いを受け、辛く悲しい思いをしていることが少なくありません。参加を拒まれたり、適切なバリアフリー・合理的配慮を受けられなかったり、自分の意見を言うことが出来ない場合もあります。

私たちは自閉症のことをもっと知りたいと思っています。そして、自分たちの子どものみならず、すべての自閉症の人が自分らしく暮らしていくことが実現できるための活動を行って参ります。さらに、その活動を通して千葉県の地域福祉や教育に貢献し、すべての人の暮らしに役立つことを望んでいます。

私たち千葉県自閉症協会は、地域に密着した県内17地区自閉症協会を持っています。自閉症の人の家族のみならず、より多様な地域の人たちのご参加を得て、「自閉症のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり」のための努力をしていく所存です。

今後も千葉県自閉症協会へ一層のご理解、ご支援、ご鞭撻を賜りますよう、深くお願い申し上げます。